

機械器具 51 医療用嚙管及び体液誘導管  
管理医療機器 胃内排世用チューブ JMDN: 14230000

## ザ ヘルス 胃カテーテル

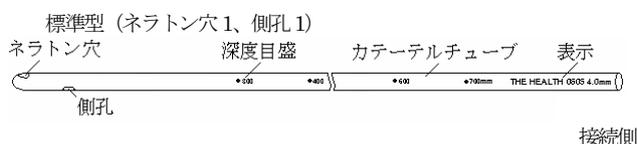
### 再使用禁止

#### 【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- 〈適用対象(患者)〉
- ・過去に「天然ゴム」によるアレルギー症状を経験している患者への使用は禁止。

#### 【形状・構造及び原理等】

・本品は単管の胃洗浄用のカテーテルであり、天然ゴムを使用している。



#### 【使用目的又は効果】

・本品は経口より胃内に挿入後、薬液を注入することで、胃内容物を体外に除去するカテーテルである。胃の洗浄を行う為に使用するカテーテルである。

#### 【使用方法等】

- ・滅菌前に水洗をすること。アスピレーター等を用いて内部に勢いよく水道水を通すと、なお良い。
  - ・完全に乾燥させる。
  - ・本品は未滅菌品である。必ず高圧蒸気滅菌(121℃、15分間)または医療機関で使用されるエチレンオキシドガス滅菌装置により、EOG滅菌(450~1000mg/L濃度のエチレンオキシドガスを使用、滅菌2時間70℃未満、過湿下、エアレーションは使用前まで24時間以上70℃未満)を行った上で使用すること。
- また、両方の滅菌方法とも、インジケーター等を用いて滅菌効果を確認しながら実施すること。

#### 胃洗浄用としての使用方法

1. カテーテルに滅菌(EOG滅菌法又は高圧蒸気滅菌法)を施す。
2. カテーテルは、患者にとって大きめのサイズ(外径:大人 11.3~12.0mm 乳幼児 5.3~9.3mm)を選択する。  
接続側にロートを付け、診察台脇に排液受け用バケツを用意する。
3. 患者の体位は、左側臥位で頭側を15度程度まで低くし(足側を15度程度高くして)、両下肢は屈曲位をとらせる。
4. カテーテルを体表に当て、予め挿入する長さの位置に目安(マーク)を付ける。
5. 日本中毒学会「急性毒性の標準治療」等に基づき、消化管除染を施すこと。カテーテル表面にはキシロカインゼリー等の潤滑剤を充分塗布し、口から目安(マーク)の位置まで慎重に挿入する。挿入後は、胃内に入ったことを確認すること。  
胃洗浄液(38℃程度に加温)は成人で200~300mLを、40~50cmの高さに持ち上げた接続側のロートからゆっくり注入する。注入後は、ロートを診察台脇に用意した排液受け用バケツをめがけて下げ、排液させる。この注入と排液を1回とし、胃内容物が認められないほど排液が透明になるまで数回繰り返す。  
透明になったら、胃内容物の残存を確認すること(体位を変えたり胃の周辺を触診)。活性炭、緩下剤及び解毒剤等の投与は、患者を45度に上体を起こして経口または経管で行う。

6. カテーテルをゆっくり抜去する。

#### 【使用上の注意】

1. 使用注意(次の患者には慎重に適用すること)
  - ・天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがある。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談すること。
2. 重要な基本的注意
  - ・刃物等鋭利な器具に触れると切断する恐れがあるのでご注意ください。
3. 相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)  
【併用注意】(併用に注意すること)
  - ・薬品によっては膨潤したり、浸透・着色・脱色・表示落ちしたりする場合がありますので確認の上使用すること。

#### 【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
  - ・直射日光、高温多湿、水ぬれを避けて冷暗所に保管すること。
2. 有効期間
  - ・包装の使用期限欄を参照のこと。[自己認証(自社データ)による]

#### 【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献
  - (1) 日本中毒学会「急性毒性の標準治療」
2. 文献請求先  
株式会社 イズモヘルス  
〒399-7104  
長野県安曇野市明科七貴6057番地  
TEL: 0263-62-2392  
FAX: 0263-62-4548

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 株式会社 イズモヘルス  
TEL: 0263-62-2392  
製造業者: 株式会社 イズモヘルス